



2017年 5月号 4/10 月 発売

特集

知性の本質

—AI時代のいま、問う—

Think about Thinking

人工知能（AI）が発達し、これまで知識労働と言われた仕事さえも機械でこなせるようになりつつある。このような時代、知性とは何かを改めて問い直す必要がある。果たして機械は創造性を発揮することができるのか、機械は人間の直感を上回るのか。このような問いを考える上で、本特集では、人にしか出せない知性とは何か、価値とは何かを探究する。

掲載予定

日本オリジナル

■ 知性の本質は知覚である

安宅和人（ヤフー CSO）

人工知能の第一人者であり、元マッキンゼーのコンサルタントというビジネスを熟知した安宅氏は、もともとイェール大学の脳科学の研究者でもある。その安宅氏が機械に置き換えられない人間の知性とは、何を感ずるかという「知覚」だという。

掲載予定

インタビュー

■ 作家にとって創造性とは何か

朝井リョウ（小説家。『桐島、部活やめるってよ』『何者』などの著者）ほか

昨今、人工知能で小説を書く試みがなされているが、これに肯定的な見方をしているのが朝井リョウ氏。人工知能を使うことで、作家はより自分のクリエイティビティを表現できるようになると言う。朝井氏が言う、人にしか出せない創造性とは何か。

掲載予定

日本オリジナル

■ 人間は、人間を知るために生きている

石黒浩（大阪大学大学院 特任教授）

「マツコロイド」や夏目漱石のロボットなどで著名な世界的アンドロイド研究者である石黒氏は、有機物の人間が無機物の機械が発展する社会で、やがては無機物化すると予言する。人は結局、機械を高度化させて、何をしたいと考えているのか。石黒氏は、結局、人間は人間を知るために生きていると言う。機械と共存する社会で浮き彫りになる人間の本質を語る。

掲載予定

オリジナル論文

■ 記憶が思考の邪魔をする

前野隆司（慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科教授）

人間の知性の一つに記憶力があるが、いまや記憶容量はコンピュータにかなわない。むしろ人間が思考を深める際には、記憶が邪魔になる。ではインプットした情報を人はどのように整理するのが思考力を高めることになるのか。

広告掲載料金

広告掲載のご案内



雑誌

4C2P(中面) **200万円** (税抜)

4C1P(中面) **100万円** (税抜)

4C2Pタイアップ

~~250万円~~ (税抜) → **200万円** (税抜)
(製作費込)



DHBRオンライン

トップレクタングル **50万円** (税抜)

GIF+テキスト **40万円** (税抜)

テキスト枠 **20万円** (税抜)

お申込み・お問い合わせ

ダイヤモンド社クロスメディア推進部
Tel : 03-5778-7220 Fax : 03-5464-0783
E-mail : web_sd@diamond.co.jp

掲載スケジュール

純広告掲載申し込み締め切り：2017年 3月10日 (金)

校了日：2017年 3月27日 (金)